

NIEワークシート小高～高校

誰しも、繰り返し手に取る書物がある。私のそれは「彼らは自由だと思っていた 元ナチ黨員十人の思想と行動」(未来社)である。ドイツ系米国人の著者ミルトン・マイヤーは戦前、ドイツに住み、ナチスの勃興を目の当たりにする。そして戦後、再びドイツに渡り、小さな町で市井の人々10人に「あなたは何で、ナチ黨員になったのか」を聞いて歩く。

高校教師だったヒルデブラントは元々、ナチに批判的だった。学校の教員35人のうちナチ支持者は5人だけ。彼自身、反ナチの活動に加わったこともある。

ただ、ヒルデブラントの身分は臨時教員のままで、8年以上も正教員になれなかった。ナチスが政権を取ると、町の成人学校の講師職も奪われてしまう。「過去の活動歴のせいかもしれない」と感じたヒルデブラントは別の州に移り、過去を隠す。そして入党し、正教員の身分を手にした。好きだった女性との結婚も手に入れる。マイヤーに問われ、ヒルデブラ

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。  
1 ヒルデブラントはなぜナチスの批判をやめて、ナチス黨員になったのですか。10字以内で書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 ヒルデブラントが黨員になって手に入れたものは何ですか。精神的なものは6字で、現実生活は25字以内で本文中から抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

精神的には 

--	--	--	--	--	--

 安心感。

現実生活では 

--	--	--

 ~ 

--	--	--

。

3 次に示した傍線部の詩で、伝えたいことは何ですか。それを説明した次の文の空欄に適語を入れましょう。

自分に関係ない 

--	--

 事として弱者が痛めつけられるのを放置するなら、やがては 

--	--

 にも攻撃の矛先が向く。そのように危惧できる健全な 

--	--

 力が必要だ。

ナチスが最初共産主義者を攻撃したとき、私は声をあげなかった 私は共産主義者ではなかったから

社会民主主義者が牢獄に入れられたとき、私は声をあげなかった 私は社会民主主義ではなかったから

彼らが労働組合員たちを攻撃したとき、私は声をあげなかった 私は労働組合員ではなかったから

そして、彼らが私を攻撃したとき 私のために声をあげる者は、誰一人残っていなかった

随想 彼らは自由だと思っていた

高田 昌幸



「私は自分をあざむきました。あざむく必要がありました。私は自分の家庭、家族、仕事、経歴、社会での居場所が欲しかったのです。私は安眠しなかったのです。入党を決断してからはいつでもぐっすり眠れました」

ヒルデブラントによると当時の社会は何もかも巧妙に偽装され、悪事はいつも善行や無害なものとの絡み合ってやってきたという。

この書物には「彼らが最初共産主義者を攻撃した時」で始まるマルティン・ニーメラー牧師の有名な詩も、日本語文献としては(おそらく)初めて紹介されている。学生時代に読んでから40年以上。それでも読むたびに発見がある。民主主義の枠組みが足元で大きく揺らいでいる今の時代状況だからこそ、発見の数も格段に増えてくる。(東京都市大教授)

## NIEワークシートのこたえ（2025年7月24日公開）

◆ワークシート「ナチスに対して声を上げずにいると(国語)」

2025.7.22付 夕刊 1面 解答

- 1 職を失ったから (失職したか 職に就けないから など 同意可)
- 2 精神的: 帰属している 現実生活: 自分の～居場所
- 3 他人 自分 想像